

# 令和 5 年度茨城県計画に関する 事後評価

令和 8 年 1 月  
茨城県

### 3. 事業の実施状況

事業の区分	3. 介護施設等の整備に関する事業	
事業名	<b>【No. 3-1 (介護分)】</b> 地域密着型老人福祉施設整備推進事業 老人福祉施設開設準備経費助成事業	<b>【総事業費】</b> 516,135 千円
事業の対象となる区域	県内全高齢者福祉圏	
事業の実施主体	茨城県	
事業の期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>高齢化が進展する中、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で日常生活を継続的に営めるよう、地域の特性に応じた、多様で柔軟なサービスの提供が可能な介護サービス拠点等の基盤整備を図る。</p> <p>アウトカム指標：地域密着型サービス施設の定員総数及び施設数を増加させる。</p> <p><b>【第9期いばらき高齢者プラン21 計画期間：令和6年度～令和8年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型介護老人福祉施設 + 19人</li> <li>・地域密着型特定施設入居者生活介護事業所 + 21人</li> <li>・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 + 3箇所</li> <li>・看護小規模多機能型居宅介護事業所 + 8箇所</li> </ul>	
事業の内容（当初計画）	<p>①地域密着型サービス施設等の整備に対する助成を行う。            特別養護老人ホーム2箇所、認知症高齢者グループホーム2箇所、特別養護老人ホーム及び併設ショートステイ1箇所、介護老人保健施設1箇所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所1箇所、看護小規模多機能型居宅介護事業所1箇所</p> <p>②介護施設等の開設・設置等に必要な経費に対して助成を行う。            特別養護老人ホーム及び併設ショートステイ1箇所、認知症高齢者グループホーム2箇所、小規模多機能型居宅介護事業所1箇所、看護小規模多機能型居宅介護事業所1箇所</p>	
アウトプット指標（当初の目標値）	<p>地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域密着型サービス施設等の整備等を支援することにより、下記目標に向けて地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進する。</p> <p><b>【第9期いばらき高齢者プラン21 計画期間：令和6年度～令和8年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型介護老人福祉施設 1,240人 → 1,256人</li> <li>・地域密着型特定施設入居者生活介護事業所 41人 → 62人</li> <li>・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 14箇所 → 17箇所</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護小規模多機能型居宅介護事業所 15 箇所 → 23 箇所</li> </ul>
アウトプット指標（達成値）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型介護老人福祉施設 1,310 人（R7）</li> <li>・地域密着型特定施設入居者生活介護事業所 41 人（R7）</li> <li>・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 15 箇所（R7）</li> <li>・看護小規模多機能型居宅介護事業所 19 箇所（R7）</li> </ul>
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後 1 年以内のアウトカム指標値：  地域密着型サービス施設等の入所・入居定員数増  →観察できた。</p> <p>地域密着型サービス施設等の整備により、高齢者が住み慣れた地域において、安心して生活できる体制の構築が図られた。</p> <p><b>（1）事業の有効性</b>  特定の地域、施設に偏ることなく、全県的に多様な施設が整備されており、地域包括ケアシステム構築に向けた整備が進んでいる。</p> <p><b>（2）事業の効率性</b>  市町村が募集しても事業者からの応募がなく、また、事業の繰り越し等により目標整備数を達成しないものもあるが、着実に整備数が積み上がっており、効率的な整備を進めているといえる。</p>
その他	